

第37回 里まつりの開催

「ドーン！」という壮大な隠岐太鼓の音色と共に第三十七回里まつりが十月二十三日(日)午前十時に開催されました。午前中は雨が降ったりやんだり、あいにくの空模様でしたが、昼頃からは何とか天候も持ち直し、たくさんの方々が来場いただき盛大に執り行われました。ご来場の皆様に喜んでいただきたく毎年頭を悩ませながら新たな企画を考えていますが、今年の試みとして歌が大好きな利用者の皆さんによる「のど自慢大会」を企画、熱いパフォーマンスで美声を披露し演奏大会を多に盛り上げました。博愛となつてまだ三回目の里まつり、まだまだ至らない点が多々あると思いますが利用者と一緒に新らしい企画を考え来場される皆様が笑顔で楽しんでいただくように思います。



「のど自慢大会」の企画、熱いパフォーマンスで美声を披露し演奏大会を多に盛り上げました。博愛となつてまだ三回目の里まつり、まだまだ至らない点が多々あると思いますが利用者と一緒に新らしい企画を考え来場される皆様が笑顔で楽しんでいただくように思います。



隠岐太鼓のみなさんによる
オーブニング



就任のあいさつ

社会福祉法人 博愛 仁万の里 吉田 春美

このたび、平成二十八年九月一日 付で、「仁万の里」施設長に就任いたしました。

ります。

職員一丸となり利用者の方々が健康で笑顔いっぱい、楽しく生活や作業が行えるように努めるとともに、地域に根差した里づくりを実現するために努力してまいりますので、ご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い致します。

里だより

<発行>

平成 28 年 11 月 30 日

社会福祉法人 博愛

仁万の里

隠岐の島町都万

08512

(6) 2289

親子で寄せ植えをしよう

施設開放事業として「敬老の日」にいつも優しいおじいちゃん、おばあちゃんにありがとうの気持ちを伝えよう」というコンセプトで「親子で寄せ植えをしよう」という企画を9月10日(土)に開催しました。

当日は子ども達の活発な姿や元気な声が仁万の里に響きわたり、躍動感にあふれ、パワーをもらったように感じました。また、参加して頂いた方からは「敬老の日まで大切に水やりをしてプレゼントしました」、「親子で一緒に取り組み、いい思い出ができました」などの嬉しい感想を頂きました。

こうした企画を通して、仁万の里が地域の中でより近い存在になり、障がい者の理解につなげられるような取り組みになればと思います。

中西 正美



寄付・寄贈御礼

小野善子様 … 金一封
長田清定様 … なべのふた(10組)
ありがとうございました。

中国地区親善球技大会

中国地区親善球技大会卓球の部個人戦に、島根代表として堀川 浩さんが参加しました。一回戦で負けてしまいましたが島根選手団と「来年は鳥取であるから練習がんばろう」と励まし合い、とても良い笑顔で帰りました。次は金メダルとるぞー!! 藤川 悟

ゆめいくサポート事業

島根県社会福祉協議会のゆめいくサポート事業にて、土の攪拌機と燐炭を作るクンネン器を購入して頂きました。

これにより肥料の燐炭製造と土練りの時間短縮を実現し、生産量をあげることができました。また、燐炭製造の量が増えたことにより新商品として、燐炭の販売を始めました。300入り520円となります。お試しいただけると幸いです。

吉田 尚道



* 行事予定 *

*みんなでつくる発表会 12月4日 *年末年始帰省 12月29日~1月3日
*仁万の里内部研修会 12月20日 *新年のつどい 1月4日

しまね県民福祉大会

9月17日に松江テルサ「テルサホール」において、島根の福祉社会づくりを進めることを目的としたしまね県民福祉大会が開催され、長年に渡り当施設のお華サークルのボランティアを続けて下さっている田中ハツ子様と、保護者会副会長を長年務められている戸嶋知純様が表彰されました。

田中様は利用者の皆さんの感性を上手に引き出して下さり、各々に個性ある生花で施設に彩を与えてくれます。今後ともよろしくお願い致します。

吉田 春美



手をつなぐ育成会中国・四国大会 萩大会

9月24日(土)、25日(日)に手をつなぐ育成会中国・四国大会 萩大会が山口県萩市で行なわれ、利用者28名、保護者3名、職員12名の計42名で参加しました。

3泊4日、貸切バスでの長旅となりましたが、久々に島外へ出かけたという利用者の方もたくさんおられ、サファリランドやヨガ体操、お酒にご馳走と、楽しんでおられました。横地 美紗



成年後見制度講演会

10月9日に役場ふれあいセンター2階において岡山県のNPO法人ゆずり葉の会の佐藤理事長さんにお越しいただき、成年後見制度講演会が開催されました。

平成18年に障がい者自立支援法が施行され、成年後見人の必要性が高まり主として親が後見人となりました。家族会では親の高齢化や親亡き後のことを考えると何か団体で行うことは出来ないか、そして自分で意思表示の難しい子供たちを永続的に守っていくためには、継続性のある組織が必要であるという保護者の気運が高まりNPO法人の設立を目指したそうです。

平成21年4月にNPO法人を設立し、現在法人後見人は212件で、運営会員がボランティアで活動をしています。

隠岐でも成年後見人の講演をたびたび開催するようになり、個人の後見人の方もおられると思いますが、組織としての役割を持つ機関が必要だと感じました。

吉田 春美



新人職員紹介

生活支援員 古吉 秀子

九月一日より仁万の里で働くことになりました。生活支援員という仕事は初めてで分からないことだらけですが、楽しく働いています。

生活支援員 田中 友樹

みなさん、初めまして、田中友樹です。介護関係の仕事は未経験なので足を引っ張る事があると思いますが、よろしくお願いします。職員の皆様や、利用者の皆様と仲良くなりたいと思っていますので何卒よろしくお願い致します。

生活介護 川上 昇一

のびのび班で七月一日よりお世話になっております。川上昇一です。諸先輩に指導を得て頑張る事が出来ています。何卒宜しくお願い致します。

生活介護 石川 郁子

初めまして、と言うよりお久しぶりと言う感じです。二年ほど前まで働かせていただいたおりましたが、体調を崩し二年ほど仁万の里を離れておりました。この度また、今度はパートとして働かせていただくことになりました。またよろしくお願い致します。

盆おどり大会の開催

8月6日(土)に盆踊りを開催しました。他のイベントと重なりましたが、たくさんの地域の方に来て頂き大いに盛り上がりました。利用者の方も、太鼓を敲いたり、踊ったりと、楽しんでいました。

盆踊りの開催に関し、ご協力して頂いた皆様に無事終了出来ました事を心よりお礼申し上げます。

吉田 尚道



防犯訓練の実施

9月6日に不審者が侵入したことを想定して、隠岐の島警察署の指導のもと、仁万の里職員33名が防犯訓練を行いました。

刺股(さすまた)の使用方法や対応術等を確認して、実際に刃物を持った不審者に扮した署員が侵入し、気づいた職員が対応しながら利用者役の職員を避難誘導しました。刺股を使って職員7名で壁際に追い込み、110番通報して警察に助けを求めました。

今後は、定期的に訓練を行い、より速い110番通報や職員間の情報伝達が必要だと感じました。

奥森 仁



サービス向上委員会報告

第三者委員会を受けた苦情が二件ありました。報告の上、解決いたしました。

九月二二日に、なんでも相談を行いました。

苦情解決委員

- ・ 第三者委員 野津 憲一(隠岐の島町人権擁護委員)
- ・ 第三者委員 池田 初香(人権相談員)
- ・ 苦情解決責任者 吉田 春美(施設長)
- ・ 苦情受付担当者 赤沼 靖(生活支援課長)
- ・ 苦情受付担当者 中西 正美(通所支援課長)

園芸班 奥元 裕子

初めての職種で、京都から二月に隠岐に移住して慣れない事ばかりで毎日奮闘しています。日々勉強しながら頑張ります。

退職者報告

*生活支援員
村上美由紀
(九月三十日付)